

人口を制する者が、世界を制してきた——
“人口の大変革期”に当たる直近 200 年を叙述。
全く新しい歴史書の誕生！



人口で語る世界史

The Human Tide : How Population Shaped the Modern World

ポール・モーランド著／渡会圭子訳

単行本／8月29日発売／本体 2200 円＋税

ロンドン大学・気鋭の人口学者が、アカデミックな裏付けのもと読み説いた決定書。
世界史がまさに目撃しつつある日本の少子高齢化に、解決策はあるのか

- ◆アングロ・サクソンは、なぜ世界の覇権を奪えたのか
- ◆ドイツとロシア。人口膨張への脅威が各国を戦争へと駆り立てる
- ◆ヒトラーによる優生学。人口増との大いなる矛盾のゆくえ
- ◆日露戦争に勝利した大日本帝国は、世界の人口大国へ
- ◆超大国アメリカの出現、人種・移民問題を端緒とする騒りとは
- ◆戦後の復興を遂げた日本が、少子高齢化大国へと逆転するまで
- ◆中国 14 億人のパワー。しかし一人っ子政策の後遺症が。インドが追い抜くのはいつか

是非とも貴媒体・書評などにてお取り上げいただけますと幸いです。

著者インタビューも可能ですので、お申し付けください。

お問い合わせ先：文藝春秋・プロモーション部 03-3288-6142 (tel) pr@bunshun.co.jp